

# 「自分たち」で電気を作って、 融通し合う。仲間をどんどん増やしたい!

NPO法人おがわ町自然エネルギーファーム  
おがわ町市民協同蟹沢発電所 / 鬼ヶ谷発電所

17kW + 20kW

NPO法人小川町風土活用センター  
バイオマス発電所

1kW



『自分たちで出資して、よいものを作り、分け合う』というパルシステムの仕組みに共感しています」と話すのは、NPO法人おがわ町自然エネルギーファーム、NPO法人小川町風土活用センターの理事・桜井薫さん。蟹沢、鬼ヶ谷の太陽光発電所と、町内の学校給食残さを活用したバイオマス発電所は、町民などが資金を出し合って完成させました。これまでの出資者は約200人にもものぼります。「住民のネットワークが電気を作って、融通し合う形が理想。住民による発電所は、その第一歩。原発のように『お上』が私たちの見えないところで勝手に物事を決めるのではなく、自分たちで物事を決められるようにしていかないと。再生可能エネルギーを一緒にやってくれる『仲間たち』をどんどん増やしていきたいですね」



蟹沢発電所